豊岡市

2026年
2月発行
第105号

議会だより



寒空を突く勇壮な水しぶき

もくじ

12月定例会の報告……2～ 3
一般質問に18人……4～13
意見書・請願……13
委員会の抱負と課題……14～15
まちの仕掛け人訪問インタビュー……16
3月定例会のお知らせ・編集後記……16

発行：豊岡市議会
編集：議会広報広聴特別委員会

〒668-8666
豊岡市中央町2-4
Tel：0796-23-1119
Fax：0796-24-8041
E-mail gikai@city.toyooka.lg.jp
URL https://www.city.toyooka.lg.jp



2025年度 補正予算 すべて原案可決

国の「強い経済を実現する総合経済対策」関連補正予算も

12月 定例会

議案審議

11月28日～12月24日

可決した主な内容（一部のみ抜粋）

- 文化会館整備事業（長寿命化改修基本設計・利用者に対する支援など）1億6,700万円
- 日高バスストップ整備事業（日高庁舎敷地内に高速バスストップなどを整備）1,000万円
- 市営住宅を活用した子育て世帯等への住宅支援（利用基準の見直し及び修繕）600万円
- プレミアム付き商品券の発行（3月頃販売開始 プレミアム率50%）17億1,000万円
- 水道料金の基本料金の無償化（全世帯対象 2ヶ月分 1世帯あたり2,112円）8,700万円
- 物価高対策 子育て応援手当の支給（3月頃支給予定 子ども1人あたり2万円） 2億2,600万円
- 保育士等の処遇改善（2025年4月に遡り 人件費5.3%引き上げ）1億5,800万円

意見が分かれた主な議案（一部のみ抜粋）

第112号議案　豊岡市立道の駅「神鍋高原」の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定について

【第112号議案　反対討論（要旨）】

神鍋温泉ゆとろぎの使用料を800円から1,000円へ引き上げる議案に反対である。観光客と地元双方に親しまれる温泉であり、値上げは他施設への波及も懸念される。物価高の中、公共施設の値上げは避けるべきだ。　（日本共産党豊岡市会議員団　議員）

【第112号議案　賛成討論（要旨）】

本条例改正は直ちに利用料を引き上げるものではなく、上限額の見直しを行うもの。今後、仮に金額の見直しを行う場合は、十分な検討と告知期間の確保など、利用者への配慮を行うことが前提とされており、柔軟性を確保しておく必要もあると考え賛成。　（豊義会　議員）

その後どうなった?!



9月定例会の委員会審査における委員会意見と回答

農業渇水緊急対策

現場の声を受け、今の対象経費の要件にとどまらず、緩和、拡大など、国・県の施策と連携し、更に検討を要望する。 **（予算決算委員会）**

県要綱（案）の内容を反映し、令和７年10月６日付で「農業渇水緊急対策事業補助金」の対象経費を小型ポンプ購入等に加え、電気代（農事用）・機器等の修繕料・重機借上料・工事費等を追加した。 **（農林水産課）**

物価高騰対策

物価高騰対策として低所得者など生活困窮世帯への給付が実施されているが、市全体の生活水準向上にむけた取り組みを考えていただきたい。 **（予算決算委員会）**

これまでの支援の実績や課題を踏まえ、関係機関とも連携を強化し、組織横断的に市民の生活水準の向上に向けた取り組みを検討していきたい。 **（経営企画課）**

国民健康保険税の県単位化に伴う対応

国民健康保険税の県単位化に伴い、県内で同一所得、同一保険料に向けた保険料水準統一化が現在進められている。一方で都市部と地方では医療機関の数やアクセスの機会などが平等ではない。市の実情に応じた対応を考えていただきたい。 **（文教民生委員会）**

安定的な医療体制を図るため、現在、５年、10年後の最適な医療サービスの把握、分析、課題抽出など地域医療計画の策定に向けた作業を進めている。

透析通院のほか、身体状況が重度・中軽度の高齢者・障がい者に対して外出支援サービス助成をしており、今後、利用できる事由の拡大の可否について検討を行う。

上記に加えて、心身に重度の障がいがある者に対して、タクシー等の利用料金の一部を助成する事業を実施している。また、制度の拡充も行っている。

（高年介護課 等）

公共施設の利用料金・利用区分の見直し、指定管理者の指定・指定期間の変更、市職員の給与に関する条例制定、補正予算、人権擁護委員の推せんなどの審議をおこないました。詳細は二次元バーコードよりご覧ください。



意見が分かれた議案の賛否一覧表

本会議での賛否を公開します。掲載のない議案は全会一致で可決されました。

賛成は「○」、反対は「×」、棄権・除斥等は「―」、議長は採決に加わらないので「／」、欠席は「欠」で表示しています。

会派名	豊義会										令和とよおかクラブ					とよおか未来創生			豊岡市議会公明党		日本共産党豊岡市会議員団	みどり	審議結果
議案名等＼議員名	青柳順子	浅田徹	荒木慎大郎	岡本昭治	小森弘詞	芹澤正志	中尾浩二	前田敦司	森垣康平	米田達也	石田清	北原大策	西垣秀昭	西田真	福田嗣久	太田智博	清水寛	谷出裕子	竹中理	辻至誠	須山泰一	義本みどり	
第107号議案　豊岡市立国民健康保険資母診療所の設置及び管理に関する条例等の一部を改正する条例制定について	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	可決
第111号議案　豊岡市立竹野川湊館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定について	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	可決
第112号議案　豊岡市立道の駅「神鍋高原」の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定について	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	可決
第120号議案　豊岡市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例制定について	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	可決
第140号議案　豊岡市長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例制定について	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	可決
委員会提出第３号議案　豊岡市議会の議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例制定について	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	可決

12月定例会

一般質問に18人

※ここに掲載する質問・答弁は、12月8日～11日のものです。内容については、昨今の社会情勢・対応策等、日々状況が変わってきています。

市民の皆さんの身近な問題、市の予算や政策など、さまざまな課題について活発な議論を交わしました。

石田　清……（4ページ）
谷出裕子……（5ページ）
北原大策……（5ページ）
米田達也……（6ページ）
須山泰一……（6ページ）
竹中理……（7ページ）
中尾浩二……（7ページ）
西垣秀昭……（8ページ）
青柳順子……（8ページ）
森垣康平……（9ページ）
芹澤正志……（9ページ）
辻至誠……（10ページ）
太田智博……（10ページ）
前田敦司……（11ページ）
義本みどり……（11ページ）
西田真……（12ページ）
岡本昭治……（12ページ）
福田嗣久……（13ページ）

各議員の最下部にある二次元コードで質問の録画映像をご覧いただけます

市議会の本会議がインターネットでご覧になれます！



インターネットにより、定例会の様子をライブ中継と録画中継で映像配信しています。
ぜひご覧ください。

豊岡市議会インターネット中継　検索

スマートフォンでも定例会のライブ中継を配信!



交付金を活用した食料品価格高騰に対する支援は

令和とよおかクラブ　石田 清 議員

答　市民の生活を支援し、事業者へも配慮する

問　賃上げ環境整備について、市独自の施策は

答　外部有識者の活用、専門家等の招聘、継続的な経営指導体制の強化や技術相談を行っている。

問　農林水産業のコストアップに対する支援策は

答　過去には、生産資材や機器等導入を支援した。

問　医療・介護等支援パッケージにおける医療・介護職員の処遇改善効果についてどう考えるか

答　職員の給与水準を引き上げることができる。

学校給食と地域農業の振興

問　学校給食の充実は、農業振興を兼ねて図る必要があると思うがどうか

使用量の多い主なもの（2024年度実績）

品　目	使用量(kg)	うち市内産(kg)	市内産率(%)
米	81,990	81,990	100.0
玉ねぎ	37,868	12,989	34.3
にんじん	21,020	4,727	22.5
キャベツ	18,348	6,947	37.9
大根	12,114	3,214	26.5
じゃがいも	7,724	4,465	57.8
もやし	7,225	0	0.0
きゅうり	6,988	3,258	46.6
白菜	6,160	2,236	36.3
小松菜	3,183	3,028	95.1
ごぼう	2,641	0	0.0
青ねぎ	2,307	1,761	76.3
さつまいも	2,273	575	25.3
白ねぎ	1,985	1,599	80.6

給食食材の米、野菜の調達先の割合

答　環境創造型農業、地産地消の取り組みは、給食無償化等で環境が変わっても継続していきたい。

産業人材の確保・育成

問　医療・介護分野の人材確保施策はどうか

答　介護職員初任者研修等に係る助成金を創設した。限られた財源等の中で支援策を検討していく。

問　非正規労働者の処遇改善に資する施策は

答　国の支援制度の周知、広報に努める。

問　生産性向上の支援策は

答　ステップアップ支援補助金などの支援メニューを通じて稼ぐ力の強化を支援してきた。また重点支援地方交付金の活用では、農林水産業の生産性向上を図る補助制度も考えられる。

問　就業者の奨学金返還支援は

答　県の奨学金返還支援に上乗せする市独自の支援制度を創設し、企業と従業員の負担を支援する。

動画はこちら

こども誰でも通園制度創設の見通しは



とよおか未来創生　**谷出 裕子 議員**

答　全国実施に合わせ在宅子育て支援を進める

問　保育人材の確保や、市の優遇措置や養成策は

答　国の公定価格制度において、処遇改善が図られており本市も対応している。また保育協会と連携し、大学生などに向けた園の見学ツアーを実施している。

０歳から２歳の保育料無償化

問　今後のさらなる段階的な無償化拡大は

答　市の独自施策として、国基準の８割の経済的負担軽減に努めてきた。保育料の軽減拡大について必要性は認識しているが、市の子育て施策全体の中でどこに重点を置くか検討したい。

子育てアプリ「iDO」

問　子育て情報アプリ「iDO」の周知と情報発信の課題は

答　市の広報、公式ホームページ、公式LINEを活用し情報発信を行っている。スマホでアクセスできる二次元コードを、子育て関係のパンフレットに提示したり持ち運びやすいカードを配布するなど環境を整えている。

とよおかiDO-子育てアプリ

保育施設での３歳から５歳クラスの白米持参

問　保護者負担軽減と安全・安心を確保する観点から完全給食をするための財政支援策や調理体制の整備計画は

答　ご飯が傷まないように各園で工夫されている。白ご飯を給食として提供するには、新たな調理設備など必要となり、主食費負担など経済的な負担が生じることになる。設備計画の検討には至っていない。



議員のひとこと

ささいな困りごとを共有し、子育てしやすい豊岡市へ

動画はこちら

新産業発掘への取り組みは



令和とよおかクラブ　**北原 大策 議員**

答　管理職のリーダーシップと職員の熱意に期待

問　豊岡ならではの発想による新産業創出について、例えば介護×観光という視点での取り組みの可能性は

答　新たな発想、価値を発掘する機会を逃さないよう、地域の現状に目を向け、常に国、県の動きや民間企業の取り組みなどを市役所全体としてアンテナ高く情報を収集し、よりよいものは積極的に取り入れる姿勢が高まるよう、職員の熱意に期待をしている。

不登校支援と教育機会確保法の実装

問　校内サポートルーム（別室対応）の活用状況は。また、別室対応が個別支援や教室復帰にどこまで結びついているのか

答　教室復帰の状況は一人一人異なるが、本年度調査で、１学期に校内サポートルームを利用した児童生徒のうち、２学期に教室に登校できた児童生徒は小学校で27.3％、中学校では23.1％であったというデータがあり、効果が少なからずあると考えている。



（生成AIにより作成）

誰もが学びの機会を失わないよう

問　不登校が、進路の妨げにならないか。高校入試や進路で不利益が生じないよう、市としての方針と支援は

答　不登校対策アクションプランにおいて、学校、地域、そして本市が一丸となって一人一人の多様なニーズに応じた対策を推進し、社会的自立を目指していく。



議員のひとこと

時間を要する教育という分野。引き続き粘り強い対策を

動画はこちら



本市指定ごみ袋の形状変更について市の考えは

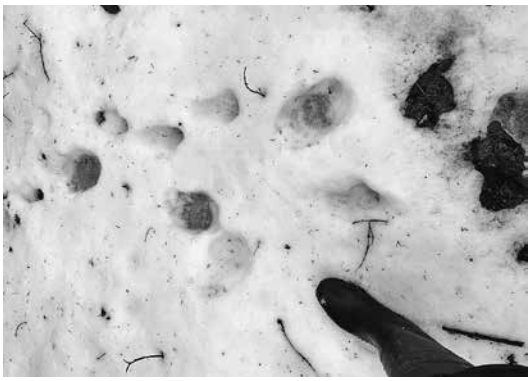
豊義会　**米田 達也** 議員

答　ごみ袋の形状変更について検討する

有害鳥獣対策

問　クマ対策として、今季は餌が豊富ゆえに繁殖が旺盛になり、来年以降の個体数の増加が懸念される。それを見据えた市の現時点での取り組みは

答　緊急銃猟制度に対応すべく、マニュアル作成、実地訓練を実施。防除対策として、不要果樹の緊急伐採と8.3ヘクタールのバッファゾーンの整備を進める。



注意！今年は山に餌があるため冬眠しないクマがいます
（2025年12月末時点）

市役所窓口の開庁時間短縮の試行

問　開庁時間の９時以前と16時30分以降は全ての部署において、相談等の対応をしないのか

答　原則、全ての窓口対応はしない。電話による問合せ対応などは従来どおり、勤務時間内である８時半から17時15分まで対応する。

問　部署によってフレックス勤務、時間差出勤で対応するという検討などした上での試行なのか

答　フレックスタイムの導入については、職員の多様な家庭環境に対応した柔軟な就労環境を確保するため、制度の導入の必要性や導入に際しての課題などを整理しているところ。

山陰近畿自動車道竹野インターチェンジのフルインター化※

問　令和３年６月定例会の際、竹野佐津間が事業化される際にはフルインター化するとあったが、変更はないか。また、事業化をされる見通しについてはどうか

答　変更はない。事業化見通しについて、2029～33年度の期間内に着手を予定している。

※**フルインター**：高速道路など、上下線の出口と入口の４方向すべてにアクセスできるインターチェンジ

動画はこちら



基金残高を増やしつつ超過課税は成り立たない

日本共産党豊岡市会議員団　**須山 泰一** 議員

答　社会情勢や財政状況を総合的に考え判断する

問　長引く物価高騰、市民の暮らし応援が求められる。こうした中で、本市の超過課税は市制20周年を機に廃止すべきだ。超過課税全体と個人市民税それぞれの、今までの課税額総額を聞く

答　標準税率超過分収入額は、2024年度までで約80億円。そのうち、個人市民税は約８億円。

問　本市の基金残高は増えている。市民に返還すべきだ。全ての基金残高が増えているのに、超過課税＝上乗せの課税をとるのは、理屈として成り立たないのでは

答　社会経済情勢の変化や本市財政状況と総合的に勘案した上で、基金の活用について判断したい。

医療・公立病院の充実

問　高齢者の入院率が、最新データ（令和４年度）でも豊岡市は県下ワースト１位。実は合併以来ずっと県下ワースト1位だ。早急な改善が必要ではないか

答　市内に急性期の病床が多い分、回復期・慢性期が不足し、入院率が低いという構造的な要因もあると思う。ただ、しっかりと対応していかないといけない。



「日高の入院、早期再開を」12月病院議会に陳情・署名5626筆

殿さんそばの今後

問　日高の三方地区で市民や観光客に喜ばれ、約20年営業してきた「殿さんそば」が、閉店して１年経つ。今後の予定は。また、新しい担い手が見つかるよう、一層の努力を求めたいがどうか

答　新しい事業者の下、施設が利用され、地域の活性化に貢献できるようにしたい。年明けから再公募を行うが、再公募が不調となった場合には、より参加しやすい条件設定ができないか検討する。

動画はこちら

このページは質問者の責任において作成したものです。

県下初の緊急銃猟訓練実施の振り返りは



豊岡市議会公明党　**竹中 理 議員**

答　今後も各機関と連携し迅速確実に対応したい

鳥獣被害対策のICT化

問　国のスマート捕獲等普及加速化事業の活用と、但馬定住自立圏域での広域連携についての市の見解は

答　ICT技術の現場普及は必要であり、費用面の事を含めつつ現場に導入できるかよく検討・研究していきたい。豊岡市がモデル地域になり得るという提案を踏まえ、但馬地域での情報共有を進めながら他の首長とも擦り合わせしながら研究をしていきたい。



議員のひとこと

緊急銃猟訓練を市が行ったことに対し市民からの安心の声、称賛の声を数多く聞きました

公営住宅について

問　9月議会でも訴えたが、公営住宅の家賃減免措置の見直しはどのような変更が決定されたか

答　兵庫県や県内他市町の事例を参考に検討し現行の取り扱いを見直す。年度途中の家賃増額時は次年度から適用する。また、収入減少時は翌月から適用するよう見直した。2026年4月からの適用を予定している。



市営住宅を活用した子育て世帯等への住宅支援（道場）

問　今議会で子育て・若者世帯に廉価な家賃で提供する議案が提出され目的外使用が一歩前進となった。入居要件である収入基準緩和について、来年度から可能か

答　現在の21万4千円以下の収入基準を子育て世帯等にも拡大し、2026年4月からの適用を予定。将来的には25万9千円への緩和も検討する。

動画はこちら

豊岡市の総合的な防災力強化についての考え方は



豊義会　**中尾 浩二 議員**

答　安全・安心へ向けて様々な視点で取り組んでいく

問　高齢化が進んでいる中、火災の備えなど地域防災力の向上として、消防団の人員確保と火災報知器の設置促進策について問う

答　消防団の充足率は85％という状況で、人員確保に向けて、広報啓発や区への勧誘依頼、報酬の引上げや補助金の導入を実施し、消防団員を雇用する事業所や関係団体等へ協力理解を求めていく。火災報知器は2006年6月1日から一般住宅への設置が義務化。豊岡市の設置率は95％で、設置・作動状況の確認と維持管理の指導を行っている。

問　大雪時の高齢世帯への支援策、除雪路線に入っていない除雪の仕方は、どの様になっているか

答　高齢者世帯等への支援策として、雪下ろし援助事業とお手伝い事業の2つの助成金事業を実施している。除雪路線は市が指定し、8時30分までに作業完了させている。それ以外は地域の方達にご協力いただいている状況である。消雪装置の不具合等不測の事態には臨機応変に対応していく。

問　地滑り等土砂災害リスクの対策、住民への周知方法、斜面監視体制強化等について問う

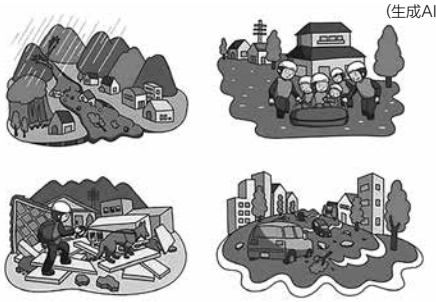
答　砂防関係施設は全て兵庫県が管理、定期点検等を実施している。施工要望や施設異常は優先度や対策時期を検討し、補修等順次対策を進めている。危険度の周知方法、監視体制等は県のホームページでリアルタイムに表示し、豊岡市ではそれらのシステム監視により適切な避難情報の発令に努めている。



議員のひとこと

みんなが安全・安心そして快適に過ごせるよう、一緒に防災力を高めて、災害に強い豊岡市を‼

（生成AIにより作成）



災害に強いまちを目指して！

動画はこちら



地域コミュニティの役割と、今後の在り方は

令和とよおかクラブ　**西垣 秀昭 議員**

答　コミュニティ機能を縮充※で強化

問　利用しづらいイナカーの今後の在り方をどう考えているか

答　イナカーは生活に不可欠な交通手段と考えている。しかし利用者減少、運転士不足、物価高など課題も多く地域によって状況も違う。地域の皆さまの意見を聞きながら利用しやすい新たな公共交通を目指していく。



議員のひとこと
今現在、通院、買い物、通学に困っている人がたくさんおられる。早急な対応が必要

問　5軒に1軒が空き家となっている今、増え続ける空き家について具体的な対策はあるか

答　増え続ける空き家を放置しておくと色々な問題が起きる原因となるので、速やかに手を打たなければならない。来年度「空き家対策室」を新設し一元的に対策を講じる。地域コミュニティや関係団体とも連携して啓発活動も行っていく。



議員のひとこと
人口減少対策としても、空き家活用は、有効な手段である。「空き家対策室」に期待する

問　各地域の課題を集約できる地域コミュニティに対する今後の取り組みは

答　誰もが安心して幸せに暮らし続けられる地域づくりを目指すため、部局を越えた連携によって、多面的にコミュニティ機能充実を地域の皆さまと協働で進めていく。



議員のひとこと
豊岡は広い、その地域ごとに合った行政サービスを目指してほしい

※**縮充**：規模は小さくなっても、豊かさを目指す新しい社会・地域づくりの考え方

動画はこちら



買物支援（移動販売）プラスアルファの可能性は

豊義会　**青柳 順子 議員**

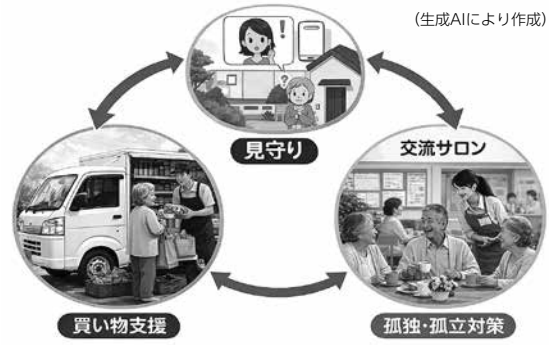
答　見守りや孤独・孤立防止に資すると考える

問　移動販売と見守り等の移動販売事業者との連携はどうか

答　既にコープこうべと豊岡市社会福祉協議会、障がい者団体等が連携して行う見守り個配サービスがあり、宅配を通じて高齢者の状況を把握する仕組みが進んでいる。現時点では、高齢者の見守りや孤独・孤立対策などを業務として切り出すのではなく、ソーシャルビジネスのように民間事業者の事業活動の一部として見守りをしていただく方向で検討していく。

問　買い物支援ネットワーク会議での「買い物支援の仕組み作り」のマネジメントの議論は行われているか

答　現状は情報共有や課題共有が中心で、全体マネジメントの議論は行われていない。その観点はとても重要だと思うので検討していく。



様々な事柄を組み合わせ、持続可能性を高めていく

問　孤独・孤立対策の議論は豊岡市として進んでいるか

答　孤独・孤立対策に関する地域協議会は今のところ作っていないが、兵庫県が実施されている官民連携のプラットフォームには参画すべく、手を挙げているところである。

問　竹野振興局として買物支援について、できそうなことや考えられそうなことはあるか

答　竹野地域では「たけの～る」が運行を開始し、買い物に出かけるということのハードルが下がった一方、遠くまで出かけにくいという方もいて、課題感は感じている。そうした声や現状を高年介護課と共有するなどして、連携していく。

動画はこちら

このページは質問者の責任において作成したものです。

市の考える個人市民税超過課税廃止の条件は



豊義会　森垣 康平 議員

答　廃止の可能性について引き続き議論を続ける

問　メリット、デメリットで考えると、市長は超過課税をどのように考えているのか

答　さまざまな面から検討しなければいけないと思っているが「やらない理由探しよりも、やれる行動探し」というところで一度考えてみようと、今始めている。

森林環境譲与税

問　本来、本税は主に山林整備等事業に使うべきと考えるが、過去6年間の決算ではそうはなっていない。2026年度予算での活用予定と方針は

答　2022年度に森林林業ビジョンを策定し、翌年にはアクションプランも策定した。ビジョンが策定される前は、事業実績が十分ではなかったかもしれないが、策定後はさまざまな新規事業をスタートしている。新年度予算でも、ほぼ全額を活用して事業を継続実施する計画としている。



市道上までせり出した山林の木々

問　多額の譲与税を森林環境基金へ積み立てた意図と今後の活用方針は

答　公共施設の木質化を進めるために必要な財源として、また森林整備に要する予算が拡大した際に活用していく。

農業支援策

問　兼業農家や小規模農家への新たな支援や補助制度の考えはあるのか

答　地域の農業というのは、大規模だけではなく、小規模、兼業農家の方も含めて総動員で守っていく必要がある。交付金があるときは、さまざまなことを俎上に載せ検討していく。

動画はこちら

都市計画立案の政策判断は



豊義会　芹澤 正志 議員

答　来年度中に政策判断し方向性を決める

問　北但大震災100年記念プロジェクトから提言されたビジョンを実現するための取り組みの準備は

答　新たなまちづくりに関する計画の策定やその手法の導入について、市の考えを取りまとめ、来年度中に政策判断をし、必要に応じて所定の手続きに着手する。

問　交通社会実験を含めた官民連携や協働のまちづくりを進めていく体制づくりの考えは

答　まちの将来像を見据え、取り組みを継続するためには、関係する主体が将来のビジョンを共有し、対等なパートナーが共につくり上げる意義と実践が重要。それぞれの責任と役割を分担し合う適切な在り方や、目指す姿を実現するための手法について、関係者で引き続き協議していく。

水産業支援

問　課題の多い水産業の将来を見据えた支援策は

答　豊岡市水産業基本計画を軸に、漁業経営の安定や後継者育成などの取り組みを進める必要がある。また漁業と観光を結ぶ取り組みも水産加工事業者や周辺地域も含めた賑わいの創出につながる。漁協とも意見交換を進め、振興策を探っていく。



議員のひとこと
稼ぐ力の源として、改編される林務水産課の強い振興策に期待します

コウノトリの郷公園

問　道の駅としての市の考えは

答　登録申請に向け県の指導を受けながら、必要な整備内容の整備や基本構想の策定を進めている。



再び賑わいを…

動画はこちら



運行２か月「たけの～る」の利用状況はどうか

豊岡市議会公明党　**辻 至誠 議員**

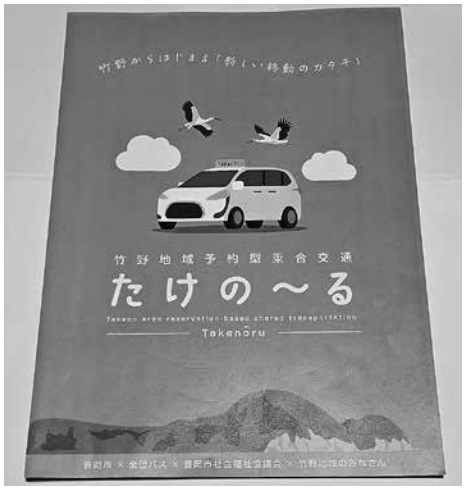
答　2か月の運行は582回、利用者697人

問　地域予約型乗合交通「たけの～る」を継続するための市としての課題は

答　「バス型日本版ライドシェア」の制度化に向けた検証を行う目的で、利用者数や運行車両台数、運行日数、利用実態と運行経費など、検証した上で、竹野地域の住民の大切な移動手段として、持続可能な事業となるよう取り組んでいきたいと考えている。

問　「たけの～る」を他地域の交通空白地域へ拡充することについてはどうか

答　地域住民が主体となり、交通事業者が運行管理を担う仕組みは、ほかの地域においても一つのモデルになり得ると考えている。地域の皆さんと十分協議を重ね「たけの～る」の仕組みも含めて、それぞれの地域に合った交通モードの導入を検討していく。



竹野からはじまる「新しい移動のカタチ」



議員のひとこと
交通空白地域解消のため地域に合った第２、第３の「たけの～る」の推進を

子宮頸がんワクチン接種の啓発

問　2026年度以降、子宮頸がんワクチン接種の接種率を上げていくための取り組みを実施してはどうか

答　ワクチン接種に対して不安を持つ方々が安心して接種できるように、国の広報資材を活用しながら、丁寧な啓発活動に引き続き努めていく。

動画はこちら



出生率1.8人、若者回復率50%以上は妥当か

とよおか未来創生　**太田 智博 議員**

答　設定当時からの状況変化も見据え妥当である

問　人口ビジョンの政策目標値については、社会減、自然減の両面から将来人口を推計し、地域の持続可能性を確保するための方向性を示す、極めて重要な計画だと認識しているが、政策目標は妥当な目標値なのか

答　以前は野心的に設定をしていたが、2020年の国勢調査および最新の人口推計においても総人口・出生率ともに５年前より相当厳しい状況が確認されており、現実的な数値へ見直したものであり妥当な水準であると認識している。



人口減少対策への具体的対策が課題

問　本市が最優先で取り組むべき分野は

答　コミュニティ政策の強化。人と人とのつながり・支え合いの仕組みを維持・発展させることができれば地域の持続性が大きくなる。子どもから高齢者までが参画できるコミュニティ環境をつくることは若者世代が地域に愛着をもち、結果として、定着を促す基盤になることを期待している。

問　本市で生活している芸術文化観光専門職大学生が住み続ける施策が、効果的で即効性があると思うが、大学側へのアプローチ状況はどうか

答　市内への就職を促進するため、大学のキャリアサポートセンターと連携し市内企業の求人情報提供や合同企業研究会を開催し、将来的な定住のきっかけづくりを行っている。高等学校については豊岡高校において、探求授業を通じてどうすれば若者が暮らし続けたいと思うまちになるのか考える機会をつくっている。

問　出生率関連で、体外受精など特定不妊治療への通院交通費助成制度を検討しているのか

答　今現在検討しているところである。

動画はこちら

このページは質問者の責任において作成したものです。

テーマを決めた観光地間の連携が必要では



豊義会　**前田 敦司 議員**

答　重要な視点だと思う。ぜひ検討したい

問　各観光地間の連携を深化させていくことが、本市の成長を加速させると考える。地域間連携の強化をどのように推し進めていくのか

答　地域間連携事業は、来訪者１人当たりの滞在日数や滞在時間、観光消費力の増加につながることから、さらなる事業推進に努めていきたい。

問　食・運動・健康・教育など、テーマを決めて２泊・３泊で豊岡市内を周遊できるようなツアー造成を大学などと連携し作るのはどうか

答　重要な視点だと思う。ぜひ検討したい。



観光は地域経済に好循環をもたらす（イメージ）



議員のひとこと

観光産業は地域外からの来訪者に楽しんでいただけ、本市の外貨獲得の柱。さらに、雇用や食材の地産地消率も高く、市内経済への波及効果が極めて大きい産業。豊岡ならではの魅力を活かしながら推進する事で、恩恵を受ける市民が増える！

市民にとっての観光の恩恵

問　大交流ビジョンには「観光権」という言葉が登場し、全ての豊岡市民は観光を楽しむ権利を有する。また、全ての豊岡市民は観光振興による利益を享受する権利を有するという概念が紹介されている。この観光権の推進の現状を問う

答　豊岡観光イノベーションが市内の観光資源を活用した体験プログラムを低価格で提供するキャンペーンを実施しており、市民の市内観光のきっかけづくりに取り組んでいる。



議員のひとこと

取り組みは素晴らしいが、その取り組みが伝わっていなかったり、実感されなかったりするともったいない。恩恵が実感できる市政運営を！

動画はこちら

教育・福祉は個人支援を超え社会で担う役割は



みどり　**義本 みどり 議員**

答　安心な地域社会をつくる重要な役割を担う

問　犯罪や非行の背景には、知的能力等の判断力の課題が関係する場合がある。学校現場では日々懸命な取り組みが行われているが、制度自体の課題もあり支援に結びつかないことがあるのではないか

答　『ケーキの切れない非行少年たち』という本には認知機能の低さと少年犯罪の関係が書かれている。この事実を見つめる必要がある。特に境界域※の子どもは見過ごされやすい。学校では通級指導で「コグトレ※」を取り入れており、今後も通級指導の拡充と研修の充実に取り組んでいく。

問　福祉業務は負担が多いという事実を踏まえ、支援の先にある意味を共有することが、負担感の軽減につながるのではないか

答　この支援が将来につながるという視点の共有が、職員の働きがいにつながると考えている。

市長の学校訪問

問　市長はすべての学校を訪問すると宣言され、丁寧に回っている。学校現場の受け止めはどうか

答　授業中に教室を飛び出した児童が職員室で市長と対面し、市長に強い言葉を発する場面があった。発達特性のある子どもは、防衛反応として暴言や行動で気持ちを表すことがある。市長がそれを適切に受け止め、特性のある子どもに日々寄り添う教職員の姿を含め、学校のこうした日常を見てもらったことに大きな価値がある。

問　放課後児童クラブは、限られた体制の中で支援員が懸命に運営している。豊岡おどりで「学童」と書かれたＴシャツで踊る姿に、日々奮闘する誇りと強い思いを感じた。ぜひ現場を訪れてほしい

答　現場を訪問する。

※**境界域**：知的障害ではないが、理解や判断に困難を抱えやすい状態

※**コグトレ**：考える力や行動などを育てる認知トレーニング

動画はこちら



消えている道路の区画線等、早急な補修が必要

令和とよおかクラブ　**西田 真** 議員

答　優先順位を設け区画線の補修を行っている

問　市内の道路で区画線、白線や黄線、横断歩道の標示が薄くなっている、消えている箇所が多くある。早急な線引き補修が必要だと思うがどうか

答　交通量や歩行者の通行量で、必要性に鑑みながら優先順位を設けて、区画線の引き直し等行っている。

問　市内の道路の路面劣化がひどい箇所が多くある。車両等の安全通行のためにも早急な舗装修繕が必要だと思うがどうか

答　修繕が必要な路線は、舗装修繕計画を策定し、計画的な修繕を行うこととしている。



議員のひとこと

消えている道路の区画線等の引き直しや、路面の舗装修繕は、事故の未然防止のためにも最優先で行っていただきたい



路面劣化（亀甲状ひび割れ）と区画線消滅（岩熊）

問　豊岡森本線の路線バスが１日３往復へと減便、昼便が廃止となり買物、病院帰りが非常に不便。解消のため空白時間帯に「たけの～る」の利用、あるいは新たな設置はできないか

答　地域の状況とニーズの把握に努めながら、勉強会や意見交換の機会を積極的に設け、地域の皆さまとの対話を重ね、地域に合った交通体系を模索していくことが重要である。

問　市街地活性化および飲食業者等を支援するためにも、市役所北駐車場の夜間有料開放ができないか

答　市長就任時検討はした。市役所北駐車場が近隣における経済活動の側面的支援の役割もあるとは認識している。過去に周辺住民の方々との調整により、騒音の関係から、夜間利用は午後10時までの運用を行うこととした経緯がある。

動画はこちら



市制20周年、10年先を見据えたまちづくり

豊義会　**岡本 昭治** 議員

答　着実に地方創生に取り組んでいきたい

問　市長就任から７か月。市政運営の現場を自らの目で確かめられるとともに、多くの市民との対話を重ねてこられたものと推察する。そこで、市制20周年に当たり、本市が抱えている主要な課題について、どのように認識しているか

答　人口減少という課題が横たわっている。こうした厳しい現実から目をそらさずに、市民一人一人に寄り添い、地域の声に耳を傾けながら、着実に地方創生に取り組んでいきたい。



議員のひとこと

市民がその内容や判断過程に納得し、安心感を持てる状態を実現することが重要であると考える

市民会館休館中における市民活動への支援策

問　市民会館の改修に伴い、利用できない期間が約４年間に及ぶ。この長期にわたる利用制限は、市民活動の停滞を招き、活動意欲の低下や団体の維持にも影響を与えると考える。支援策はどうか

答　但馬内のほかの施設で実施しようとする場合、施設使用料を補助したい。また、バス等の車両借り上げ料、公共交通利用料、楽器等の資機材運搬経費についても併せて補助する。



長期にわたり使用可能と判断された市民会館

小学校体育館のトイレ改修

問　小学校体育館は、地域行事や災害時の避難所として多様に利用されているが、依然として和式で残っているケースが多くある。利用者の負担や衛生環境の問題が指摘されているがどうか

答　改修をより進めるためには、学校ごとの優先度を考慮しながら、限られたスペースの中で、低コストで整備していくことも検討する必要があると考えている。

動画はこちら

このページは質問者の責任において作成したものです。

豊岡病院の経営悪化どうする



令和とよおかクラブ　福田 嗣久 議員

答　抜本的な改革が必要と考える

問　令和７年当初予算よりマイナス6億円、内部留保資金としてはマイナス25億4千万円という予想数字となるが市としての対応はどうか

答　各病院の在り方や機能の見直し、職員定数の見直しなど、抜本的な構造改革が必要。引続き地域医療を守り持続可能な経営体制の確立に取り組む。

問　基本的に存続し得ない状況になってくるが、オーナーとしての本市と朝来市の対応はどうか

答　資金が枯渇すれば民間では倒産となり信用不安をあおる。今事務レベルで情報交換会を密接に開く準備をしている。



病院の在り方を再検討！

市長選挙での市長の発言より

問　高校生の通学費1万5千円までは個人負担。負担が大変大きい状況についてどう考えるのか

答　さらなる検討を重ね、持続可能な補助制度を模索していこうと考えている。

問　振興局の権限拡大のテーマとして現地解決型予算をつけると断言されたがどうか

答　振興局が個別の事案に対し、これまで以上に機動的に対応すべく予算の増額も含め、ルール作りや弾力的な活用方法の検討を進めている。

問　外出支援サービスについて運賃と利用者負担額が比例していなくて不公平感がある、という表現はふさわしくないと思うがどうか。また、助成上限を100万円から段階的に落とし、実に1,400万円程度の削減計画だが病気、身体の不自由な方に対してここまで切詰める必要があるのか

答　遠距離の人が優遇されていると誤解されるため表現は留意する。市域の広さによる影響を緩和することを検討し持続可能な制度にしたい。

動画はこちら

このページは質問者の責任において作成したものです。

12月定例会で提出された意見書など

意見書案第７号

持続可能な地域医療提供体制の維持に向けた財政支援等を求める意見書

意見書趣旨（抜粋）

公立豊岡病院組合は、三次救急※、周産期、がんなどの高度医療を一手に担う基幹病院である。

医療機関とりわけ公立病院を対象に、物価・人件費高騰を補填する緊急の財政支援(補助金)を迅速かつ簡素な手続きで講じること。

また、診療報酬改定において、特に地方で救急医療等の不採算部門を担う基幹病院がその機能を維持できるよう、地域の実情や病院の役割に応じた手厚い評価を断行すること。

※**三次救急**：重症患者に対して高度な救急医療を提供する体制

意見書案第８号

ＪＲローカル線の維持に向けた国の積極的関与と支援措置を求める意見書

意見書趣旨（抜粋）

ＪＲローカル線については、安易な減便を行わないよう指導するとともに、鉄道事業者によるICOCA等のIC乗車券対応の促進を含むキャッシュレス化の導入や、階段利用の困難な高齢者へ配慮した同一ホームでの乗降といった駅設備の改良、利便性向上の取り組みを支援すること。



意見書案第９号

刑事訴訟法の再審規定の改正を求める意見書

意見書趣旨（抜粋）

えん罪は減らすことはできても無くなることはない。慎重な裁判を行うことでその誤りを防ぐ三審制が採用されているにもかかわらず、いくつもの再審無罪判決が出されてきたことを考えれば、再審に係る確固たる手続規定が整備されなければならない。

国においては、えん罪被害者を迅速に救済するため、刑事訴訟法の再審規定の改正を速やかに行うよう強く求める。

※意見書案第９号については「請願」として、部落解放同盟の上庄境支部長、日高支部長、出石支部長から提出のあったものです。

上記の各意見書については、本会議において、全て全会一致で採択され国等の関係機関へ送付しました。

委員会の抱負と課題

総務委員会

持続可能な行政サービスに向けて

委員長　芹　澤　正　志

当委員会は、市政運営の根幹に関わる基本構想をはじめ、地方創生の推進、人口減少対策、消防行政、地域コミュニティの在り方やジェンダーギャップ解消など、幅広く重要な課題を所管しています。



市制20周年記念式典で合唱する学生たち

昨年、市政20周年を迎え、新市長のもとで新たな市政運営が進む中、市民の期待に応える実効性、夢のある施策の推進が強く求められています。

中でも人口減少対策は、地域経済の縮小や人材不足、医療・福祉・教育体制の維持など、市民生活全般に深刻な影響を及ぼす最重要課題です。

当委員会としては、将来を見据えた視点で課題を丁寧に検証し、市民の声を的確に市政へ反映させながら「住み続けたい豊岡市」の実現に向け、建設的な提言と責任ある監視に努めてまいります。

文教民生委員会

地域医療の現状と課題を重点的に調査・研究

委員長　石　田　　清

当委員会は、健康福祉や医療、子育てや学校、社会教育、ごみや生活環境、文化芸術やスポーツなど、市民の暮らしに身近な分野を扱う委員会です。

現在、所管部署別では、くらし創造部でごみの減量化や消費生活相談、市民部で乳幼児・こども医療費の助成、健康福祉部では地域福祉や障害者福祉、介護保険事業のほか、地域医療計画の策定、子ども未来部では出産・子ども子育て支援、観光文化部では市民会館のリニューアル、教育委員会では学校園の再編、就学前の教育・保育の充実や放課後児童クラブでの育成支援などが進められています。

当委員会では、当面、地域医療の現状と課題について重点的に調査・研究することとしています。



地域の医療を守る豊岡病院

建設経済委員会

現場に足を運び、市民目線の活動を

委員長　森　垣　康　平

当委員会は、商工業や観光業、農林水産業といった産業振興と市道、上下水道、市営住宅、公園等の公共インフラ整備の他に、危険空き家対策、有害鳥獣対策、各振興局事業といった多岐にわたる分野を担当しています。

豊岡市の大きな課題「人口減少」「物価高騰」「人手不足」「鳥獣被害」といった諸問題に深く関わる委員会としての重責を感じております。

特に本年は、物価高騰対策の議論を深め、市民の方々の生活を助ける施策を提案していきたいです。また、委員会としても、現場に足を運び直接皆さんの声を聞き、それを反映できるような取り組みをしていきたいと考えております。



現地を確認する様子

委員会の抱負と課題

議会広報広聴特別委員会

読みたくなる広報と親しみやすい広聴活動

委員長　前　田　敦　司

当委員会は「広報」と「広聴」の２つの役割を担っています。広報活動では「議会だより」などを通じて市議会定例会の審議内容や、各議員の一般質問、市民の皆さまからの意見・要望とその取り扱いなどを分かりやすく伝えるための編集作業を行っています。



読みたくなる「議会だより」を目指して

また、広聴活動では、市民団体の方々にお話を伺う機会を設け、その活動を紹介するとともに、議会に対する期待やご意見をお聞きしています。

今期は今までに視察に伺った先進地のアイデアも参考にしながら委員会で協議し、手に取りたくなるような「議会だより」を目指し、広聴活動もさまざまな方のお声を伺えるよう工夫を重ねてまいりたいと考えています。

人口減少対策調査特別委員会

人口減少対策は本市最大の課題

委員長　西　田　　真

本市では現在、人口減少が急速に進んでいます。

主な要因は、出生率の低下や晩婚化、若者の未婚率の上昇、高齢化、若者の都市部流出などです。特に出生率は過去最低となり、地域によっては深刻な過疎化が進んでいます。

その対策として令和8年4月には「第3期豊岡市地方創生総合戦略」が策定され、取り組みが進められます。

当委員会においても、当局と議論を重ねながら、その取り組みを検証し、より成果を上げる必要があります。特に、移住・定住促進、結婚・子育て支援、産業振興等は重点調査事項でもあり喫緊の課題です。

豊岡で暮らすことの価値と魅力を若者や子ども達に伝え、移住・定住、結婚等を促し人口増となり住んで良かったと思える街づくりを目指します。



急速な人口減少が予想される

防災対策調査特別委員会

共に支えあう防災を目指して

委員長　義　本　みどり

当委員会は、市民の皆さまの命と暮らしを災害から守るため、防災対策について調査・検討を行う委員会です。


防災授業でのワークショップの様子（港中学校）

治水・治山などのハード対策は重要ですが、近年の災害は、対策を重ねても技術だけでは防ぎきれない現実を示しています。また、人は危険が迫っても、とっさに逃げる行動をとりにくく、家族や身近な人を心配するあまり、避難が遅れてしまうこともあります。

災害時には、日頃から準備してきたことしか行動に移せないとも言われています。だからこそ、一人一人が「自分の命は自分で守る」という防災意識を高め、住民の主体的な防災活動を支援することの重要性も意識しながら、委員会活動を行ってまいります。

まちの仕掛人 訪問インタビュー

団員よ　安全　確実　迅速に　そして常に備えよ！
～地域の安全・安心を自ら守る消防団～

豊岡消防団消防出初式の後、団長の中村正義さんにお話を伺いました。

中村団長は豊岡消防団入団44年目。入団のきっかけは地区の先輩からの誘いだったそうです。入団以来、学生時代から体育会系だったこともあり、日々の訓練や数々の辛い災害現場を多くの仲間と乗り越え、充実した消防団活動を続けて来られました。



風を切って颯爽と分列行進



団長として恥ずかしくない姿を！
と笑顔で敬礼

豊岡消防団では「誰かを助けられる人になりたい」との思いを具現化するため、本来の活動に加えて献血事業にも力を入れ、年間400人以上の団員が献血に協力されています。このほかにも懸念される大規模水害への備えなど独自の消防団活動を続けておられます。

消防団は“なり手不足”が問題となる中「入りやすく、活動しやすい消防団」へと変化しつつも「自分達の地域を自分達で守る！」という本質は変わらないと力強く語って下さいました。

3月定例会の日程（予定）

本会議（開会日）	2月27日（金）９時30分～
本会議（一般質問）	3月９日（月）～12日（木）９時30分～
常任委員会審査 （総務・文教民生・建設経済）	3月16日（月）・17日（火）９時30分～
常任委員会審査（予算決算）	3月12日（木）※、24日（火）13時～
特別委員会審査	3月24日（火）９時30分～
本会議（閉会日）	3月26日（木）９時30分～

※　一般質問終了後に開催

【本会議の傍聴について】

一時保育（無料）を実施していますので、希望者は１週間前までにお申し込みください。また、豊岡市議会インターネット中継によりパソコン、スマートフォンから審議の様子を中継でご覧いただけます。

■問合せ／豊岡市議会事務局
☎ 0796-23-1119

編集後記

▶昨年11月、議員として活動をスタートし、今回議会だよりの編集に携わることになりました。

▶市民の皆さまにとって、読みやすく興味を持っていただける広報紙を目指して取り組んでまいります。

▶またどこかで私を見かけましたら、ぜひ広報紙の感想をお聞かせください。

（西垣秀昭）

▶新人議員として初の一般質問に臨みました。また広報広聴委員としての初めて「議会だより」の作成にあたり、初めてづくしですが、一歩ずつ邁進してまいりたいと思います。

▶「議会だより」は、議会での議論内容を市民の皆さまにお伝えする紙面であります。より親しみやすく、現場の声を大切にわかりやすい紙面づくりに努めます。（谷出裕子）

議会広報広聴特別委員会

委員長	前田　敦司
副委員長	須山　泰一
委員	青柳　順子
〃	小森　弘詞
〃	谷出　裕子
〃	辻　至誠
〃	西垣　秀昭

UD FONT 見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。